



# 【お 知 ら せ】

土 交 通 国 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 天竜川上流河川事務所

# 天竜川流砂系総合土砂管理計画検討委員会 【下流部会】(第3回)、【上流部会】(第2回)を開催します

天竜川における流砂の連続性を確保するため、水系一貫した総合土砂管理計画の策定 に向け、様々な課題について、学識経験者の科学的・技術的な知見から助言を得ること を目的とし、天竜川流砂系総合土砂管理計画検討委員会【下流部会】を平成28年3月に、 【上流部会】を平成28年12月に設置しました。

このたび、第3回下流部会・第2回上流部会を合同で下記にて開催しますのでお知ら せいたします。

- ※下流部会の検討範囲は佐久間ダム貯水池上流端より下流を、上流部会の検討範囲は佐 久間ダム貯水池流端より上流を指します。
- 〇日 時

平成29年3月24日(金) 13:00~15:00

○場 所

TK P 名古屋駅前カンファレンスセンター ホール 5 A 愛知県名古屋市中村区名駅2-41-5 СК20名駅前ビル5 F

○内 容

【天竜川流砂系総合土砂管理計画(第一版)】(骨子(案))

- ○委員会の進め方
  - ・委員会は公開で行います(傍聴席を用意しています)
  - 写真・映像の撮影は委員長挨拶までとさせていただきます
- ○その他
  - ・傍聴者が多数となった場合は、会場の都合により、傍聴頂けない場合があります

□ 資	料	別紙-1	(委員会	の概要)					
□配布	先	伊那市記者	うり ラブ	゛・駒ケ根ア	<b>「記者クラフ</b>	ブ・飯	田市記	者ク	ラブ
		浜松市政語	君クラ	ブ					
□解	禁	なし							
□ 問い	合わせ先								
	下流部会】								
	同日去客心		+ / <del>**</del> 🗀	シピュハシマ・ロロロ	コンギョニッケニィ		0=0	466	044

国土交通省中部地方整偏局 浜松河川国道事務所 TEL:053-466-0116 調査第一課長 林 昌広 副所長 堀江 幸生

#### 【上流部会】

国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 TEL:0265-81-6415 副所長 宮下 良広 事業対策官 矢澤 聖一

# 天竜川流砂系総合土砂管理計画検討委員会について

### 1. 概要

天竜川は、中央・南アルプス間を流下する急流河川です。天竜川流域は、中央構造線等による急峻な地形と脆弱な地質からなります。天竜川流域では、土砂に起因した様々な課題があり、土砂災害・ダムの堆砂、河川における樹林化の進行、遠州灘沿岸の海岸侵食等があげられます。

このように、土砂生産域、ダム領域、河川領域、河口・海岸領域それぞれの領域において、土砂に関わる課題を抱えているため、水系一貫した土砂管理を実現するための総合土砂管理計画を策定する必要があります。

このため、天竜川の水系一貫した総合土砂管理計画の策定に向け、各領域 における様々な課題について、学識経験者の科学的・技術的知見から助言を 得ることを目的とし、下記の委員会を設置しました。

### 2. 委員

#### 【下流部会】

氏名	所属等					
青木 伸一	大阪大学大学院 教授					
萱場 祐一	国立研究開発法人 土木研究所 水環境研究グループ 上席研究員					
櫻井 寿之	国立研究開発法人 土木研究所 水工研究グループ 主任研究員					
角 哲也	京都大学 教授					
諏訪 義雄	国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室長					
谷田 一三	大阪市立自然史博物館 館長					
辻本 哲郎	名古屋大学 名誉教授					
戸田 祐嗣	名古屋大学大学院 教授					

#### 【上流部会】

氏名	所属等					
沖野 外輝夫	信州大学 名誉教授					
萱場 祐一	国立研究開発法人 土木研究所 水環境研究グループ 上席研究員					
櫻井 寿之	国立研究開発法人 土木研究所 水工研究グループ 主任研究員					
諏訪 義雄	国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室長					
辻本 哲郎	名古屋大学 名誉教授					
戸田 祐嗣	名古屋大学大学院 教授					
溝口 敦子	名城大学 准教授					

注) 敬称略、五十音順

## 3. 結果の公表

委員会資料及び議事要旨は、浜松河川国道事務所及び天竜川上流河川事務所 のホームページに掲載します。